

周産期母子医療センターを受診している患児およびそのご家族へ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	当院 NICU/GCU 病棟における血管留置カテーテルの固定方法の検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(所属) 看護部 (職名) 看護師長 (氏名) 鈴木智子
研究の対象となる方	2022年4月1日から2023年5月31日までに当院 NICU/GCU に入院し、末梢血管留置カテーテルを挿入していた患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2024年3月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 医療関連機器圧迫創傷を予防するために、末梢血管留置カテーテルの固定方法の変更が有効であるかを検討することを目的としています。 〔利用方法〕 本研究では収集した診療情報を元に、末梢血管留置カテーテルの固定によって褥瘡発生した児・しなかった児に分類し、週数や体重、留置針・ルート接続部での皮膚保護剤使用の有無を比較します。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、在胎週数、出生体重、修正週数、点滴の目的、留置針・ルート接続部での皮膚保護剤使用の有無等を取得
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年1月31日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報	非該当

の提供	
問い合わせ先	愛知医科大学病院 周産期母子医療センター 担当者：(職名) 看護師長 (氏名) 鈴木智子 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 37835)